

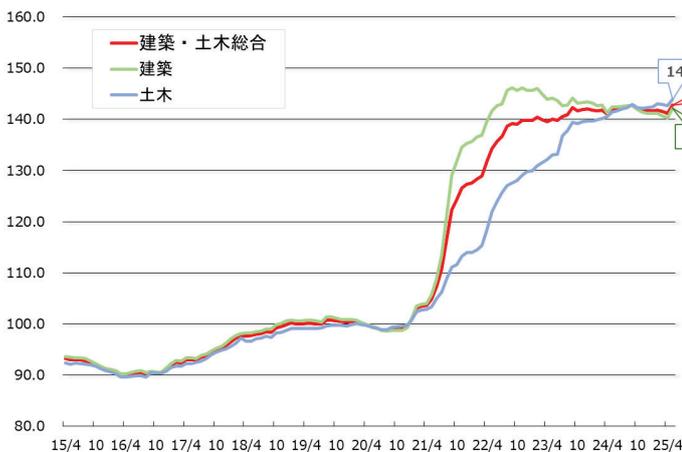
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年5月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.8	+1.6	+0.8
建築	142.2	+1.9	-0.2
土木	143.9	+1.2	+2.5

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">セメント：+19.5札幌生コンクリート：+22.5東京	<ul style="list-style-type: none">瀝青材：-2.5那覇、-2.2新潟、-2.0札幌・仙台・広島、-1.8名古屋・高松、-1.7福岡、-1.6大阪、-1.3東京普通鋼鋼材：-0.4仙台・名古屋、-0.2新潟
建築	<ul style="list-style-type: none">セメント：+19.5札幌生コンクリート：+21.9東京	<ul style="list-style-type: none">普通鋼鋼材：-0.5名古屋、-0.4仙台
土木	<ul style="list-style-type: none">セメント：+19.5札幌生コンクリート：+23.9東京	<ul style="list-style-type: none">瀝青材：-6.9那覇、-4.6東京・名古屋・大阪・広島、-4.4福岡、-4.3仙台・新潟・高松、-4.1札幌普通鋼鋼材：-0.5仙台、-0.4新潟、-0.2名古屋、-0.1札幌・東京

指数集計対象資材の市況

5月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比プラス1.6ポイントの142.8となり、昨年の9月調査で記録した過去最高値に並んだ。とりわけ土木指数は前月比プラス1.2ポイントの伸びを示し、3カ月ぶりに最高値を更新している。瀝青材や普通鋼鋼材の市況は需給緩和の状況下で軟調に推移しているものの、東京地区の生コンクリートがm3当たり3,000円を超える急騰となったことに加え、札幌地区のセメントが約2年ぶりにt当たり2,000円の大規模上昇となったことが指数を押し上げた。セメントはメーカーの売り腰強く、今後も全国的に上昇が見込まれ、その影響が波及する生コンクリートも強含みで推移すると見られている。瀝青材や鋼材は不安定な市況推移が続きそうだが、指数は引き続き上昇圧力が強い展開となりそう。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212